

算数担当が、算数を教えつつ、いろいろなことを考えてみました。

$\pi=3.141592653\dots$

No.1：図形について考えてみた

令和7年4月16日
墨田区立柳島小学校
校長 近藤 幸弘
柳島小学校 算数担当

こんにちは。柳島小学校で4～6年生に算数を教えて2年目となります。「算数ができる!」「算数が楽しい!」とお子さんが思えるような授業を通して、算数の学力向上を目指しています。本紙で、算数の授業内容等をできる限りお伝えしたいと思っています。理屈っぽい話が多くなるかもしれませんが、少しでもお子さんの学力向上のお役に立てれば…と思い、不定期ですがいろいろ申し上げたいと思っています。よろしくお願いいたします。

「図形分野」について考えてみました。

教科書・ドリルで比べてみても、図形分野は計算の分野より演習量が少なくなっています。多くの演習問題に取り組みにくく、児童は「分かったつもり」になりがちです。学力調査から全国の傾向を見ても、図形分野の正答率は他と比べてやや低めです。特に図形の「定義」の正答率が低い傾向にあるようです。

そのため、図形分野で頻繁に用いる言葉（専門用語）については、一つ一つ意味をしっかりと理解できるよう、特に丁寧に指導する必要があると考えています。

ここで問題です。図形分野での基礎的・基本的な知識として、「直線・直角・頂点・辺・面・角」を挙げました。これらは何年生で学習するのでしょうか。

「直線・直角・頂点・辺・面」は2年生、「角」の定義は3年生で学習します（角の「測定」は4年生）。特に「直線」「辺」「頂点」「面」を2年生で学習することは、小学校3年以降中学・高校・大学数学まで10年以上、これらの用語を正しく理解できていることを前提として学習が進むということです。**早くも2年生の段階で、極めて重要な言葉を学習する**と考えてよさそうです。

私は授業でよく「〇〇という言葉は、これから大学数学まで使っていく言葉だよ。今しっかり使えるようになろう。」と話します。ですから、例えば「正方形の線は、…」でなく、「正方形の辺は、…」のように、算数の専門用語を正しく使わせたいと考えています。

おまけ 下の計算を、効率的に解いてみてください。

$$\frac{1}{1 \times 2} + \frac{1}{2 \times 3} + \frac{1}{3 \times 4} + \frac{1}{4 \times 5} + \frac{1}{5 \times 6}$$

※かけ算に分かれている分母の数字を、上手に使ってみてください。